

平成 30 年度 大山崎町高齢者福祉計画推進委員会 要点録

日時：平成 31 年 3 月 27 日（水）午後 3 時～

場所：大山崎町役場 2 階第 2 会議室

1. 開会

2. 議題

委員長

計画策定から 1 年がたち、計画通りに進んでいる事、そうではないところあると思うが、本日は状況報告のあと、みなさまからご意見いただければ。スムーズな議事の進行にご協力を。まずは報告「(1) 第 8 期高齢者福祉計画（第 7 期介護保険事業計画）の進捗状況」について、事務局より報告願う。

報告（1）第 8 期高齢者福祉計画（第 7 期介護保険事業計画）の進捗状況について（資料 1）

事務局からの説明

委員長

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明につきまして、意見があればお願いします。

A 委員

町の高齢化率はどれほどか。

事務局

平成 31 年 2 月 1 日時点で、27.7%。

E 委員

資料 2 ページの認定率について、大山崎町が全国平均より高い理由は。

事務局

京都府が高いのは、京都市が高いからだが、おそらく利用できるサービスが身近にあると認定を受けやすいというのはあると思われる。町内には介護事業所はあまりないが、長岡京市、島本町の事業所を利用されている方も多く、また京都市に近いので選択肢が多いということが挙げられる。

D 委員

施設サービスの待機者は減っているのではないか。事業所が声をかけても、「まだいいです」という回答が多いと聞く。

A 委員

おっしゃるとおり。申し込みキャンセルは少ないが、有料老人ホームに入ったものの金銭的に厳しいため、特養の申し込みをされるパターンが多い。

委員長

サービスつき高齢者住宅の建設予定はあるか。

事務局

町内では聞き及んでいない。

委員長

1 ページ目の認定者数、60 歳代 70 歳代前半は推計より低く、高齢になると推計を上回っている。分析してみるといいのではないか。

議題（1）第8期高齢者福祉計画（第7期介護保険事業計画）に記載の取組と目標に対する自己評価について（資料2）

委員長

続いて、議題について、事務局から説明願う。

事務局

本計画より、市町村が取り組むべき施策と目標に関する事項を定めることが必須と成、その達成状況に関する調査及び分析を行い、結果を公表するよう努めるとともに、府知事に報告することとされた。そのための様式として資料2のシートが示され、この様式に基づいて、数値目標を定めたものについて皆様で評価いただきたい。

事務局から説明

B 委員

2 ページの老人クラブ事業の支援とは。

事務局

長寿会連合会の事務局を高齡介護係で担っており、府老連、乙老協との連絡調整や、総会やスポーツ大会の運営補助、補助金の支給を行っている。

C 委員

仲間で集まってテニスをしている。全員高齢者。これには補助金は出ないのか。

事務局

老人クラブの目的が、加入者同士の見守りや助け合いなどの互助活動を基本としており、趣味のサークルや集まりとは異なる。

B 委員

老人クラブの会員数が減っているが、長寿苑（老人福祉センター）の利用者数も減っている。29年度で平均90人だったのが、66.6人まで下がった。お風呂が使えない事も要因。

D 委員

3ページのケアプランチェックはどのように行なうのか。

事務局

普段から、ケアプランは各種サービスの申請等で添付してもらっているが、実地指導の際の例で言うと、あらかじめ提出されたものと町が把握している国保連からの請求があっているか、手続きを踏んで作成されているかという形式の部分と、何故このようなプランにしたのか、本人の意向はどのようなものかというサービスの組み立ての部分を確認する。

F 委員

助け愛隊サポーターの養成講座を受けた方のその後は。

事務局

複数人が集まって、体操やカフェなどのサークルを立ち上げる方もいる。現在17団体ほど。

B 委員

社会福祉協議会で、サポーター養成講座修了者に「くらし助け愛隊」に登録してもらうよう働きかけ、25名登録いただいている。介護保険外の有償ボランティアとして、ゴミ出し、水やりから始める。また、ご当地体操を作ったが、これもサポーターからの提案がきっかけ。皆さんやる気のある方が多い。

委員長

もとは、大阪人間科学大学との共同で始めた講座だったが、毎年多くの方に参加いただきありがたい。その方々のやる気を生かして、介護予防に取り組んでいただきたい。

委員長

以上で議事は終了し、事務局にお返しする。

事務局

ありがとうございました。この3月末をもって皆さまの委員任期が満了する。各団体へは改めて次期委員の推薦依頼をするのでよろしく。